２０２２年１１月１日
株式会社京葉銀行

第２回「CHIBA SDGs Parklet Project」を開催しました！

～京葉銀行はイベント開催を通じた地域課題解決に取り組んでいます！～

株式会社京葉銀行（頭取　熊谷 俊行）は、一般社団法人野菜がつくる未来のカタチ（代表理事 鳥海 孝範）、株式会社レプコ（代表取締役社長　野本 茂雄）、塚本總業株式会社千葉支社（千葉支社長　平野 裕一）とともに食品ロスをはじめとした地域課題解決や、千葉駅前大通りの賑わいを取り戻すことを目指す、「CHIBA SDGs Parklet Project」に取り組んでいます。

１０月２８日（金）、第２回目となる「CHIBA SDGs Parklet Project」を開催しましたのでお知らせいたします。

【イベント概要】

開　催　日	２０２２年１０月２８日（金）	
開 催 時 間	１１:３０～２０:００（ラストオーダー １９:３０）	
会　場	京葉銀行本店営業部前 （千葉市中央区富士見１―１１―１１）	
主　催	CHIBA SDGs Parklet Project 実行委員会 株式会社京葉銀行、一般社団法人野菜がつくる未来のカタチ、 株式会社レプコ、塚本總業株式会社千葉支社	
後　援	千葉市、株式会社ベイエフエム	
協　力	千葉大学環境 ISO 学生委員会、NTT 東日本千葉事業部	
来 場 者 数	５２０人	申告ベースレジ通過人数
食品ロス削減量	約４１kg	申告ベース出店者合計
フードドライブ	約１２kg	寄付された総量

【目的】

食品ロス問題に向き合い、前回に引き続き規格外野菜の販売、活用した料理・加工品などの販売を行うことに加え、駅前大通りがまちの顔として、人々が歩いていて楽しい、居心地が良いと思えるような活力を取り戻すべく、キッチンカー販売や、飲食スペースを設置しました。

さらに今回は、来場者に「フェアトレード」を知ってもらうことをテーマに据え、フェアトレードに関する食品類などの商品の販売や、千葉大生が作成した食品ロス問題やフェアトレードについてのぬりえ絵本とリーフレットの配布を行い、皆さまに理解深めていただく取り組みを行いました。

また、これまで同様、ご来場された方が日頃感じている地域の課題を気軽に投書いただける「目安箱」や、家庭やオフィスで余っている食料品を募り寄付する「フードドライブ」の設置など、幅広く地域の課題解決を図る取り組みも行いました。

【当日の様子】

当日は、多くの人が足を止め、買い物や食事を楽しまれました。なお、次回開催は３月３日（金）を予定しています。

当行は、今後も定期的に本プロジェクトを通じたさまざまなイベント等を開催することにより、地域の課題解決に継続して取り組んでまいります。

以　上

京葉銀行ではＳＤＧｓへの取り組みに関するニュースリリースに、「ＳＤＧｓ１７の目標アイコン」を標示しています。

【ＳＤＧｓ：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）】
2015 年 9 月に国連で採択された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17 のゴール・169 のターゲットから構成される。